

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（11月）

留学先：天主教輔仁大学

氏名： 藤堂智江

みなさんこんにちは、11月もまた様々な経験を積みました藤堂智江です。先月は寒くなってきたと冒頭で書きましたが、その後また夏のように暑い日が続いたり寒さが戻ってきたりと天気も忙しい台湾です。11月初めは中間テスト、その後も毎週ビッグイベントがあったので報告します。

【無耳茶壺山】

中間テスト後ずっと登りたいと思っていた九份近くの山、無耳茶壺山に登ることができました。前期も多くの欧米などからの留学生がこの山に行っていて、友達にもそんなに大変ではないと勧められていたので是非挑戦してみたいと思っていたところ、スペイン人のルームメイトに誘われ、4人の台湾人とともに行



ってきました。私の予想を超える登山難度でしたが、台湾の秋の山とそこからの風景は本当に素晴らしく、一生に一度の良い経験となりました。台湾人や欧米の友達や、子供も気軽にこの山を登っているので、やはり彼らは強いなあと思いました。私も台湾人のようになりたいです！

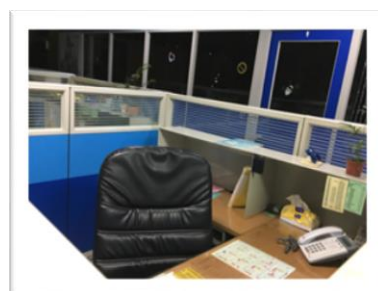


【職業体験】

以前福井大学に留学していた友達が働いている台中の会社にお邪魔し、2日間職業体験と見学をさせていただきました。大型機械を製造していて、工場の中にオフィスがあるような会社でした。友達の家泊めてもらい、一緒にバイクで出勤し、日中は英語と中国語で書かれた取扱説明書を日本語へ翻訳しました。翻訳は専門用語が多く、日本語



でどう呼ばれているのかなども随時調べる必要があり大変でしたが、楽しく感じる部分もあったり、「仕事をする」ということがどういうことか理解できたり、本当に貴重な体験になりました。上司や同僚の人達も良い人ばかりで、朝や休憩時には一緒に話したりもできました。特に上司の方にはインタビューもさせてもらい、会社のこと、



海外との取引、日本はどういった相手かということを知りました。友達は仕事以外の時間には海に連れて行ってくれたり、初めて行く彰化懸と一緒に連れて行ってくれたり、たくさん話したり、久しぶりに会えてとても嬉しかったし、このような機会を与えてくれて感謝です。

【家族が来ました】

11月最終週には祖父母と母が台湾に来ました。祖父は30年ほど前に1年間台湾で働いていたことがあり、是非また訪れたいと願っていましたが、高齢で歩くのもスムーズではなく、夏頃までは諦めかけていました。しかしきつとなんとかなると、思い切って実現した旅行でした。祖父は何十年も当時の友達と手紙を交換しており、連絡も簡単にとれ、彼らに会いに行き、一緒に食事をしたり当時の写真を見て楽しむことができました。また、当時祖父が働いていた場所も見学させていただき、今の社長ともお茶を飲みながらお話しさせていただきました。なんと当時一緒に働いていた人とも会社で再会できました！合計3組の家族と会い、孫である私とも直接的な繋がりをもたらしてくれて、祖父は行動で縁や人を大切にする事の大切さを教えてくれたと感じます。祖父だけでなく私にとっても素晴らしく、感動的な機会でした。また、今は私も中国語がまあまあ分かるようになったので、通訳をしたり、相手の家族と中国語で話すことができました。私もこの繋がりを大切にして、また恩返しをしたいと思います。



↑ 1989

↓ 2018



【新しい経験】

今期墨崎さんが行っている日本語を使った高齢者支援をしている会へ1度同行させてもらい、日本統治時代から生きているお年寄りとお話ししました。私が話した人は、90歳を超えていても、話もスムーズで耳も遠くなく、60歳ほどにしか見えない人でしたが、戦時中の話や仕事をしていたときの話をしてくれました。昔の日本が台湾を納めていたという事実を実感でき、歴史についてももっと勉強したいと思いました。

11月中は他にも大学紹介をしたり、今期できた台湾人の友達のいところが車で港町の夜市へ連れて行ってくれたりと、前期にはなかったような出来事が満載の1ヶ月でした。残り1ヶ月半、日本に帰りたくないという思いがとても強いので、悔いの残らない毎日になりたいです。